

隔月刊「いいテク・ニュース」Vol. 185号【最新開催セミナーご案内！】

□ ■ (株)技術情報センター ————— ■ □

「いいテク・ニュース」

～ Ecology & Energy-Techno News ～

☆☆☆☆【10月開催セミナー・新規取扱書籍ご案内！！】☆☆☆☆

□ ■ ————— 2024.9.26 Vol.185 ■ □

(株)技術情報センターのメルマガをご覧くださいありがとうございます。

9月22日から9月27日ころまでが、二十四節気の初候で「雷乃収声（かみなりすなわちこえをおさむ）」で、夕立に伴う雷が鳴らなくなるころです。

入道雲から鱒（いわし）雲へ、秋の空が晴れ渡ります。

そんな秋晴れの空を見上げれば飛行機雲。

飛行機雲は、非常に冷たくて湿った上空を飛ぶ飛行機から排出されるガスに含まれる水蒸気が冷えて氷の雲粒になったり、飛行機が高速で飛ぶときに空気が急に膨張して冷えたり、翼の端などで空気の渦ができるために現れ、航跡雲ともいいます。

飛行機が時速300キロ以上を出せるようになったころから現れはじめ、1931年の世界記録飛行大会で初めて観測されました。

飛行機雲がすぐに消える場合は、上空が乾燥しているので晴天が続き、逆に飛行機雲が長く残っている場合は雨が近いと言われています。

飛行機雲時経て鱗（うろこ）雲と化す

山口誓子

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第185号をお届けいたします。

今回も2024年10月開催19セミナーと新規取り扱い書籍情報3タイトルと盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでご覧いただくとありがたく存じます。

□ ■ _____ ■ □

i n d e x

□ ■ _____ ■ □

◇セミナー情報[2024年10月開催セミナー/19件]

2024年10月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2024-10.html>

◇おすすめセミナーPick Up

10月30日(水)開催

「メタネーション/e-methaneの技術/研究開発と事業動向・展望」セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/20241005.html>

◇主催セミナー アーカイブ一覧

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

◇新規取り扱い書籍情報 (3タイトル)

<https://www.tic-co.com/books.html>

◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング

<https://www.tic-co.com/access-lanking/al-index.html>

◇E-mail変更・不要について

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

◇季語に遊ぶ

<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202409.pdf>

□ ■ _____ ■ □

セミナー情報

[2024年10月開催セミナー/19件]

□ ■ _____ ■ □

当社主催セミナーを、開催日順でご案内致します。

詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます

URLにてご案内致しております。

■ 10月16日(水)-----

DAC/CO2分離回収に関する研究開発/要素技術動向と展望
～講師4名【名古屋大学、東京都立大学、産業技術総合研究所、KRI】ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★I・III・IVのみアーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241004.html>

■ 10月16日(水)-----

イオン交換樹脂の操作・取り扱い方と
環境・化学・エネルギー分野への利用・応用展開

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241007.html>

■ 10月17日(木)-----

乾燥技術の動向と乾燥プロセスにおける
コスト削減策（省エネ・低炭素化技術）
～適材適所に省エネ乾燥！
エネルギー有効利用や乾燥操作でコスト削減！CO2削減！～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241002.html>

■ 10月17日(木)-----

アンモニアの燃料利用に向けた取組み・設備・展望
～東洋エンジニアリング、三國機械工業、
千代田化工建設、伊藤忠商事の方々がご登壇～

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241015.html>

■ 10月18日(金)-----

蓄熱発電と高温蓄熱利用に関する事業開発／技術動向
～講師5名【エネルギー総合工学研究所、産業技術総合研究所、
東京科学大学、日本原子力研究開発機構、Blossom Energy】ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241012.html>

■ 10月18日(金)-----

排水処理装置の設計法入門

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241008.html>

■ 10月22日(火)-----

スーパーキャパシタ／リチウムイオンキャパシタの
ブレドープ等要素技術と開発動向・応用展開・展望
～講師3名【武蔵エナジーソリューションズ、日本ケミコン、旭化成】ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241014.html>

■ 10月22日(火)-----

－『実際の需要』『利用の視点』からみた－
水素の最適利用・事業性と実際例

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241017.html>

■ 10月23日(水)-----

～プラントエンジニアリングにおける～
プロジェクトマネジメントの最近の動向とEPCコスト管理
-今年9月発行の日本プロジェクトマネジメント協会（PMAJ）

P2M改訂4版についても解説-

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241011.html>

■ 10月23日(水)-----

～所望する粉体特性（粒子径、粒子径分布など）を得るために～
粉碎の基礎・ボール（ビーズ）ミルにおける
粒子径変化予測・操作条件最適化及びスケールアップ法

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241013.html>

■ 10月24日(木)-----

－電気器材を実際に触れて理解を深めるために
受講定員を絞り「実機による演習」を豊富に交えた－
現場で役立つ電気の基礎知識
～専門外の方のための～

★会場★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241003.html>

■ 10月25日(金)-----

－プラント・エンジニアリング・発電・エネルギー分野における－
デジタルトランスフォーメーション（DX）の取組みと実際
～講師4名【日揮グローバル、千代田化工建設、三菱重工業、横河デジタル】ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★I・II・IVのみアーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241016.html>

■ 10月25日(金)-----

容量市場・需給調整市場・同時市場の方向性と
エネルギー基本計画の展望

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241001.html>

■ 10月29日(火)-----

～創出者・購入者両方の視点を含めた～

J-クレジット制度・市場の最新動向とビジネス展開及び
カーボンプライシング政策／排出権取引制度と今後の展望

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241010.html>

■ 10月29日(火)-----

水素燃焼・混焼など低・脱炭素発電に関する取組みと技術開発

～講師4名（関西電力、三菱重工業、

三菱重エパワーインダストリー、産業技術総合研究所）ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241019.html>

■ 10月30日(水)-----

メタネーション／e-methaneの技術／研究開発と事業動向・展望

～講師6名(INPEX、東京ガス、CCR研究会、OLI systems、IHI、静岡大学)ご登壇～

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241005.html>

■ 10月30日(水)-----

廃プラスチックなどケミカルリサイクルに関する技術開発・事業動向

～講師4名(アイシーラボ、住友化学、レゾナック、日揮ホールディングス)ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241018.html>

■ 10月31日(木)-----

～未利用・廃棄物系を含めた～

バイオマス燃料の地産地消変換技術と取組み事例

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241006.html>

■ 10月31日(木)-----

～プラント建設プロジェクトを焦点とした～
エンジニアのための設備コストの見積法入門

★会場★

★ライブ配信★

<https://www.tic-co.com/seminar/20241009.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度
ご覧頂けましたら幸いに存じます。

■ 受講申し込み受付中セミナー一覧

● 2024年4月開催アーカイブセミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-04archive.html>

● 2024年6月開催アーカイブセミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-06archive.html>

● 2024年8月開催アーカイブセミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-08archive.html>

● 2024年10月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2024-10.html>

● 2024年10月開催アーカイブセミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-10archive.html>

● 2024年12月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2024-12.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、
最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

■ ----- ■

おすすめセミナーPick Up

■ ----- ■

今回のPick Upセミナーは

「メタネーション/e-methaneの技術/研究開発と事業動向・展望」セミナー

です。

本セミナーでは、メタネーション/e-methane（合成メタン）に関する技術/研究開発と事業動向について、今後の展望を含め斯界の最前線でご活躍中の講師陣から詳説頂きます。

- 講師 株式会社INPEX 若山 樹 氏
- 講師 東京ガス株式会社 高橋 徹 氏
- 講師 CCR研究会事務局
一般社団法人日本ガス協会 藤木広志 氏
- 講師 OLI systems, Inc 薬師寺 光 氏
- 講師 株式会社IHI 山本大雅 氏
- 講師 静岡大学 教授 福原長寿 氏
- 日時 2024年 10月 30日 (水) 10:00～17:55
- 会場 東京・新お茶の水・連合会館（旧 総評会館）・会議室

※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信（Zoom）での受講も可能です。

※セミナー資料（テキスト）はセミナー開催日の直前にデータ（pdf）でお送り致します。

※アーカイブ受講可能

（当日受講及びアーカイブ受講の両方をご希望の方はそれぞれ受講料を頂戴致します。）

1. 受講料は同額となります。
2. 恐れ入りますが、講師への質問は受付できません。
3. 開催日より7～10営業日以降に配信の準備が整いましたらご連絡致します。
4. ご都合の良い日をお伺いし、視聴用URLなどをお送り致します。
5. 動画の公開期間は公開日より3日間となります。

- 受講料 ◆ 1日受講 55,000円【1名につき】
 - ◆ 午前（プログラムI・II）受講 33,000円【1名につき】
 - ◆ 午後（プログラムIII～VI）受講 44,000円【1名につき】
- ※上記全て、テキスト代、消費税を含む

●セミナープログラム●

10:00-11:15

I. CO₂-メタネーション技術の2023年度開発状況と事業化展望、課題

CO₂-メタネーションによる合成メタン（e-methane）は、カーボンリサイクルに資するだけでなく、天然ガスや都市ガスの既存インフラ全てにおいて、追加・変更無く低炭素化が可能であることが最大の利点である。INPEXでは2016年度から、NEDO事業としてe-methaneを生産するCO₂-メタネーション技術の可能性調査や基盤技術開発を実施している。2021年度からは世界最大級となる400 Nm³-CO₂/hのNEDO-実用化技術開発事業を実施しており、今夏から試験設備の据付け作業を進めている。本講演ではINPEXの2050ネットゼロへの取組みや、最新の試験設備の建設状況に加え、2023年度の開発状況等について概説する。

1. INPEXの2050ネットゼロへの取組み
 - (1)INPEX Vision@2022について
 - (2)ネットゼロ5分野の2030/2050頃に目指す姿について
 - (3)CO₂-メタネーションの位置付け
2. CO₂-メタネーションに係る政策動向
 - (1)METI-メタネーション推進官民協議会における議論について
 - (2)METI-ガス事業制度検討WGにおける議論について
 - (3)MOEJ-SHK制度算定方法検討会における議論について
3. CO₂-メタネーションの課題
 - (1)平衡反応のジレンマについて
 - (2)最適反応器と規模について
 - (3)コスト及びLCA試算について
4. 400 Nm³-CO₂/hのNEDO-実用化技術開発事業における2023年度の開発状況
 - (1)事業概要について
 - (2)反応シミュレーション技術開発について
 - (3)反応プロセス技術開発について
 - (4)スケールアップ等適用性検討について
5. 今後の事業化展望、課題
6. 質疑応答・名刺交換

（若山 樹 氏）

11:30-12:30

II. 東京ガスのカーボンニュートラルに向けた取組みとe-methaneの社会実装

2050年ネットゼロ達成に向けて、熱需要の脱炭素化が重要である。e-methaneは水素キャリアとして既存のインフラをそのまま活用して熱分野の脱炭素化に効果的であり、同時に追加のインフラ投資コストを抑制できる。東京ガスでは、2030年都市ガス1%相当のe-methane導入に向けて、国内の小規模実証を進めるとともに、海外サプライチェーン構築の取組みを推進している。更にはGI基金を活用し、サバチエメタネーションに代わる、ハイブリッドサバチエとPEMCO₂還元という2つの革新的なメタネーション技術の開発も進めている。本講演ではe-methane実現に向

けた東京ガスの取り組みを紹介する。

1. 2050年カーボンニュートラルに向けた東京ガスの取り組み
2. メタネーション/e-methaneの意義と社会実装に向けたロードマップ
 - (1)e-methane活用の意義
 - (2)e-methane社会実装に向けたロードマップ
3. 国内メタネーション実証の取り組み
4. 海外サプライチェーン構築に向けた取り組み
5. 革新的メタネーション技術開発
6. まとめ
7. 質疑応答・名刺交換

(高橋 徹 氏)

13:30-14:20

III. e-methaneの炭素集約度に関する検討結果

「水素社会推進法」が成立し、今後低炭素水素等の供給・利用事業者に対して、GX経済移行債などの支援が実施されることになる。低炭素水素等の要件の一つとして、炭素集約度が基準値以下であることが求められており、CCR研究会において、e-methaneの炭素集約度の基準値の検討を行い、第12回メタネーション推進官民協議会で報告をしたので、その内容について概説する。

1. ガス業界におけるカーボンニュートラルチャレンジ
2. 炭素集約度とは
3. 国内外の炭素集約度の検討状況
4. CCR研究会における炭素集約度の検討結果
 - (1)算定範囲
 - (2)CO2のカウント
 - (3)サプライチェーンごとの炭素集約度
5. 今後の展望
6. まとめ
7. 質疑応答・名刺交換

(藤木広志 氏)

14:35-15:25

IV. CO2-メタネーションへのシミュレーションの適用可能性

CO2-メタネーションなどのカーボンニュートラルプロセスは世界的に商用化に向けた開発や社会実装が進められている。プロセス設計においては、商用化されていないためにシミュレーションによる検討が不可避である。しかしながら、汎用プロセスシミュレーターには表現できる限界がある。そこで、汎用プロセスシミュレーターの使用範囲を見極め、CCUSの上流部分までの適用事例

について概説する。一方で、汎用シミュレーターを使用できない部分については自前でシミュレーションを構築する方法（python を用いた反応器挙動のシミュレーションなど）について紹介する。

1. カーボンニュートラルの反応
 - (1)カーボンニュートラルに向けた反応
 - (2)各反応の特徴とその共通点
 - (3)メタネーション反応の課題
2. CCUSへの汎用シミュレーションソフトの適用性
 - (1)適用可能性範囲について
 - (2)アミン溶液などの電解質モデルのシミュレーションについて
 - (3)CO₂輸送部での配管内の流体挙動および腐食性について
3. メタネーション反応器の型式と等温反応器の設計方法
 - (1)反応器の型式の紹介とその特徴
 - (2)等温反応器の設計方法
 - (3)設計の留意点
4. 結論・および今後の展開性
5. 質疑応答・名刺交換

(薬師寺 光 氏)

15:40-16:40

V. CO₂メタネーション技術によるカーボンリサイクルの取組

カーボンニュートラル社会への移行に向けて、化石資源にかわりCO₂を炭素源と捉え有価物として再利用するカーボンリサイクル技術の確立・実装が求められている。触媒を使ってCO₂を燃料や化学原料などの有価物に転換するカーボンリサイクル技術についてその原理と特徴を述べる。本講演では、CO₂メタネーション技術によるe-methaneの製造技術開発と事業展開について紹介する。

1. IHIのカーボンニュートラル社会への移行に向けた取組
2. カーボンリサイクル技術の原理と特徴
3. IHIにおけるCO₂メタネーション技術開発の取組
4. IHIにおけるCO₂メタネーション事業展開の動向
5. 今後に向けた課題と展望
6. 質疑応答・名刺交換

(山本大雅 氏)

16:55-17:55

VI. 革新的メタネーション技術で拓く産業排出CO₂のe-メタン化、合成ガス化、固体C化

産業プロセスから排出されるCO2を、分離・濃縮することなくそのまま高速で大量にe-メタンに変換する技術を紹介します。また、製造したeメタンを合成ガスに変換する技術や、固体炭素として固定化して排出CO2を機能性材料に変換する技術についても紹介します。

1. メタネーションの課題点
2. CO2を高速で大量にe-メタン化する技術
3. CO2を合成ガスに変換する技術
4. CO2を固体炭素に固定化する技術
5. 質疑応答・名刺交換

(福原長寿 氏)

－名刺交換など－

セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<https://www.tic-co.com/seminar/20241005.html>

■

 ■
主催セミナー アーカイブ一覧

■

 ■

過去に開催致しましたセミナーの当日の様様を録画・編集した動画を配信致しております。
是非一度ご覧下さいませ。

こちらから↓

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

■

 ■
新規取り扱い書籍 (3タイトル)

■

 ■

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにてご案内致しております。

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓

<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202409S.html>

今回は第1位に

PFAS（有機フッ素化合物）の分解・再資源化と効率的除去・処理技術

～講師4名【神奈川大学、流機エンジニアリング、東京工業大学、NX Filtration】ご登壇～
がランクイン。

有機フッ素化合物(PFAS)類の分解・再資源化と浄化・除去処理技術を中心に、
代替物質の開発状況や各国の規制動向、企業の環境マネジメント方法などを含め、
斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂いた内容が多くの関心を集めたのでしよう。

関連セミナーとして

2024年10月16日(水)に

イオン交換樹脂の操作・取り扱い方と

環境・化学・エネルギー分野への利用・応用展開

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20241007.html>

ならびに、

2024年10月18日(金)に

排水処理装置の設計法入門

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20241008.html>

ならびに、

2024年10月30日(水)に

メタネーション/e-methaneの技術/研究開発と事業動向・展望

～講師6名(INPEX、東京ガス、CCR研究会、OLI systems、IHI、静岡大学)ご登壇～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20241005.html>

ならびに、

2024年10月30日(水)に

廃プラスチックなどケミカルリサイクルに関する技術開発・事業動向

～講師4名(アイシーラボ、住友化学、レゾナック、日揮ホールディングス)ご登壇～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20241018.html>

ならびに、

2024年10月31日(木)に

～未利用・廃棄物系を含めた～

バイオマス燃料の地産地消変換技術と取組み事例
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20241006.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

：：：：：：：：：： ☆ 書籍及び調査資料 ランキング ☆ : : : : : : : : : : :

第1位 『リサイクル材・バイオマス複合プラスチックの技術と仕組』
<https://www.tic-co.com/books/23sta147.html> アクセス数 590件

第2位 『車載用LiDARの市場・技術トレンド』
<https://www.tic-co.com/books/23stm084.html> アクセス数 489件

第3位 『プラスチックの循環利用拡大に向けたリサイクルシステムと要素技術の開発動向』
<https://www.tic-co.com/books/23stm082.html> アクセス数 425件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓
<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202409B.html>

今回は「リサイクル材・バイオマス複合プラスチックの技術と仕組」
が書籍・調査資料アクセスランキング第1位に。

プラスチックのマテリアルリサイクル、リサイクル材料・バイオマス素材を中心に
その利活用技術と取組を専門の方々に執筆いただき、資源循環型社会実現のために
どのような仕組や技術が必要か、課題はどこか、その現実解やヒントを執筆いただいた
内容が関心を集めてのランクインでしょう。

関連セミナーとして
2024年10月30日(水)に
廃プラスチックなどケミカルリサイクルに関する技術開発・事業動向
～講師4名(アイシーラボ、住友化学、レゾナック、日揮ホールディングス)ご登壇～
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20241018.html>

ならびに、

2024年10月23日(水)に

～所望する粉体特性（粒子径、粒子径分布など）を得るために～
粉碎の基礎・ボール（ビーズ）ミルにおける
粒子径変化予測・操作条件最適化及びスケールアップ法
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20241013.html>

ならびに、

2024年10月31日(木)に

～未利用・廃棄物系を含めた～

バイオマス燃料の地産地消変換技術と取組み事例
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <https://www.tic-co.com/seminar/20241006.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

■ _____ ■

E-mail変更・不要について

■ _____ ■

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に「アドレス変更」と
ご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス

★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう
お願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に「不要」と
ご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう
お願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

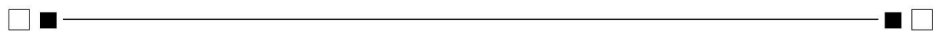
<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、
ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

■ _____ ■

季語に遊ぶ



長月、神無月に観たい北斎の「富嶽三十六景」と俳句

めぐりくる季節に合う名画と俳句、今年は葛飾北斎（かつしかほくさい）（1760～1849）の代表作で、日本美術の歴史を語る上で欠かすことのできない傑作として、国内外の人々に広く愛されている「富嶽三十六景」を紹介しています。

今回はその五回目として長月、神無月に観たい作品と俳句です。

19世紀後半のヨーロッパ芸術界を席卷した「ジャポニズム」。

その火付け役となったのは、日本からフランスに輸出された陶磁器を包む緩衝材として使われていた「北斎漫画」だと伝えられています。

これがある芸術家の目にとまり、そのデッサン力と多くのモチーフをいくつものパターンで表現する発想力に驚き、それがきっかけで、北斎や広重を筆頭とする日本の浮世絵など彼らの芸術作品が注目を集め、瞬く間にヨーロッパ中に広がって行きました。

フィンセント・ファン・ゴッホ、エドゥアール・マネ、エドガー・ドガをはじめ印象派の名画家たちが心酔し、天才ガラス工芸家エミール・ガレなど工芸の世界で活躍する芸術家たちも北斎や広重の作品の影響を色濃く受けました。

2020年、日本のパスポートが28年ぶりにリニューアルされ、査証ページの背景に「富嶽三十六景」の作品が敷かれるようになりました。

また、今年七月に発行された新千円札の裏面に「神奈川冲浪裏」が採用されています。

まさに今、注目されている「富嶽三十六景」のうち長月、神無月に観たい作品と俳句をお楽しみ下さい。

こちらから↓

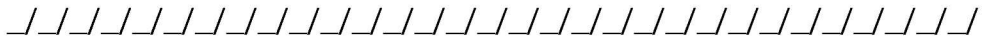
<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202409.pdf>



最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井貴大

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等
melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。



『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[T E L] 06-6358-0141

[F A X] 06-6358-0134

[U R L] <https://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com